

南信州広域連合第 11 回広域連合会議 結果報告

日時：平成 26 年 2 月 14 日(金) 14:55～16:00

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503 号会議室

1 開 会…14:55

【出席者】 14 市町村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕 石田所長・松田副所長・丹羽地域政策課長・林建築課長・林地域政策課長
補佐

〔飯田保健福祉事務所〕 松沢副所長

〔飯田建設事務所〕 山岸所長

〔飯田市〕 秦野企画部企画調整係長

〔飯田医師会〕 市瀬会長・牛山担当理事

〔町村会〕 山田事務局長

〔飯田広域消防〕 山田消防長・桂消防次長

〔飯田環境センター〕 米山事務長

【事務局】 金田事務局長・渡邊事務局参事・吉川事務局次長・小林事務局次長補佐兼介護保険係長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・近藤広域振興係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長挨拶

この度、広域連合会議の一員として迎えた喬木村の市瀬村長、阿智村の熊谷村長においては、1 日も早くこの場に馴染み、積極的に議論に加わっていただき、役割を果たしてもらいたい。

先日、リニアに関連して伊那谷自治体会議が開催され、この地域全体の課題を共有しながら地域振興につなげていこうという話合いが持たれている。その他にも、免許センターの設置に関することや消防救急デジタル無線施設等についても、この後ご協議いただきたい。また本日は、「在宅医療研修会」について飯田医師会から市瀬会長と牛山医師もお見えになっていただいているので説明を受けたい。

喬木村 市瀬村長、及び阿智村 熊谷村長から着任挨拶

4- (3) 飯田医師会より在宅医療研修会について (資料 5-1・5-1-2)

…飯田医師会 市瀬会長・牛山担当理事 (健和会病院院長)

今後、飯田下伊那でも団塊の世代が年を取るに従って、在宅医療の必要性が高まってくる。医療・介護についても、広域連合と協力していかなければならないと考えている。本日はそのことに関し、2 つ程要望があつて来たので担当理事から説明させていただく。 (以上 市瀬会長)

一つ目の要望は、3 月 1 日に開催される「在宅医療研修会」に役場の担当課職員と、地域包括支援センターから各 1 名の出席をお願いしたいというもの。二つ目の要望は、在宅医療人材育成事業に係る補助金について、飯田医師会と広域連合が協議を行い、もれなく申請していただくようお願いするもの。

まず「在宅医療研修会」について、少子高齢化にともなう厚労省の 2 大改革として、急性期病床の削減と在宅医療の充実が進められている。在宅医療の充実については市町村の仕事であり、医師会と協調して進めることとされているため、十分に認識された上で職員を研修会に派遣していただきたい。講習会については、医師以外が聞いても理解できるように内容をアレンジする。後半では、在宅医療・介護に関わる講師陣と自治体職員が地域別ブロックに別れて検討会を行い、これが人材育成事業に当たる。今後は市町村単位、ブロック単位での開催になるので、そのつもりで職員を派遣して欲しい。

もう一つ、在宅医療人材育成事業に係る補助金申請については、今年の1月30日付で各市町村に通知が配布されているが、26～27年度に実施する事業に対して補助金が出るというもの。包括支援センターに1か所当たり30万円、医師会当たり50万円で、飯伊地域全体では500万円の補助金が出る。事業照会期日が4月の上旬であるため、全市町村で漏れなく申請してもらうようご協議いただき、今後の人材育成事業を円滑に行ってほしい。(以上 牛山担当理事)

【質疑なし】2点の要望に対し、各市町村で対応していくことが確認された。

3 協議事項

(1) 南信運転免許センター設置に向けた取組について(資料7)

…資料による説明(佐藤副管理者)

資料の1にある主な経過については省略。2については皆様にも聞いてもらったとおり、1月15日に受けた県警からの回答である。ピアゴは適さないという判断であったが、南信運転免許センターの設置については決定済みであり、その設置場所については飯田市及びその周辺が望ましいという話があった。

今後の取組については、県警と協議した結果、設置場所を最終的に決定する県警本部からの担当者を加えた検討組織を広域連合内に設置し、県警本部と連携して検討を進めていきたい。これまで交渉を担当してきた飯田市担当部課長、北部・西部・南部の代表各1名(課長クラス)、県警本部担当者、広域連合事務局を構成メンバーとしたい。このような進め方で良いか、ご協議願いたい。

【質疑・意見】

・改めて一からやり直すと言うことか。

→(副管理者) これまでの経過を全くさらにする訳ではないが、県警側が設置者としてどのような条件をクリアしなければならないかをお聞きしながら場所の選考を行っていきたい。

・「飯田市及びその周辺」とあるが、飯田市以外で設置する気持ちが無いのであれば、各ブロックの代表者を入れる必要はないのでは。

→(副管理者) 場所の選定に当たっては、この地域の方にとってどこの場所が良いのかという観点で考えるため、全体で協議したほうが良いと考えた。

・選定に当たって、県警からの要望、条件提示は何か無いのか。

→(副管理者) 東信運転免許センターを例に、駐車場は最低何台必要とかいう話が出ていたが、具体的な条件提示はまだ無い。今後の検討の場で示されていくのでは。

・今まで広域連合の場で話し合ってきたことを、いきなり課長クラスに落とすのは荷が重い。首長を何人か検討の場に入れた方が良いのでは。

→(副管理者) 入っていただくことに違和感はないが、スケジュール的に可能かどうか。

・丘の上への集約も首長がしっかりと議論したことであって、課長クラスで話し合う事ではないように思う。副市长や広域連合の事務局長が県警と話をし条件等を聞いてきた上で、広域連合会議の場で決着を付けていけば良いのでは。

→(副管理者) 連合会議には当然諮っていくが、それとは別に検討する場を設けたい。

・連合会議の場で決めていくべき事だ。現時点で決まった事については、県議にも伝えておくべき。

→(連合長) この場に諮るのは当然のこと。それまでの交渉過程に、課長クラスでは駄目ということであれば各ブロック代表の首長さんということになるが。

→(吉川事務局次長) 趣旨としては、意思決定をする訳ではなく候補地のリストアップ及びそのためのデータ収集をするもの。事務的に整理をする組織を設置してはどうかという提案。

・県警からの条件提示があれば、まずこの場で報告してもらい、各首長さんの思いを汲んでもらいたい。

・今までは既存の建物で駐車場を確保できるものという条件できたが、今後は建物すら新たに建てる必要が出てくるのでは。

・ピアゴの交渉過程では、広域連合に情報が余り入らず、連合議会でも説明が無いという指摘があった。もっと事務局が説明できるような体制にするべき。

→ (連合長) まとめとして、課長クラスが入る話は無し。事務局を中心に、今まで交渉を担当してきた飯田市担当部課長と県警本部の担当者を交えて話を詰めてもらい、広域連合会議の場にも上げてもらうことにしたい。

…今後の進め方については上記のように承認された。

(2) 平成 26 年広域連合議会第 1 回定例会について (資料 1)

…資料による説明 (吉川事務局次長)

3 月 20 日の 10 時から消防本部にて。一般質問は通告が無かったため無し。条例案件 4 件、予算案件 5 件。資料裏面は全員協議会の次第であり、協議・報告事項は現在のところ 6 件となっている。

【質疑なし】

(3) 消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事の進捗状況について (資料 2)

…資料による説明 (桂消防次長)

12 月 3 日に仮運用を開始し、3 月 14 日の本運用に向けた最終調整を行っている。2 月 20 日の全員協議会でも状況説明をさせていただく。本運用開始にあたり竣工式を開催する。日時は 3 月 14 日の午後 10 時から 1 時間程度で、式典、テープカット及び施設見学という簡素な内容で行う。出席は 14 首長さん、議会の総務・文教・消防検討委員会の皆様をお願いしたい。当日は連合会議もあるので、是非ご出席を。

【質疑なし】

(4) 「南信州いいむす 21」登録判定について (資料 3)

…資料による説明 (近藤広域振興係長)

下記 2 団体から登録申請があった。

・多摩川テクノクリエイション株式会社 (中級更新)

・飯田環境センター (初級更新)

両団体とも地域ぐるみ環境 ISO 研究会から「適合」の判定を受けている。

【質疑なし】 2 団体について、登録が承認された。

4 報告事項

(1) 第 2 回リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議について (資料 4)

…資料による説明 (吉川事務局次長)

新聞報道等でご承知かと思うが、2 月 4 日に伊那谷自治体会議 第 2 回目の会合が開催され、副連合長が代表で出席、連合長は飯田市長として出席された。阿部知事の挨拶の中で、リニア担当部長の設置及び知事を本部長とした推進本部の設置が表明された。各市長から説明のあった資料は添付のとおり。飯田市長からは「リニアを見据えた都市構造の検討」、伊那市長からは「リニア中央新幹線による伊那谷のまちづくり」、駒ヶ根市長からは「駒ヶ根市まちづくり構想図(案)」についての説明がされた。県が作成し、現在パブリックコメントに付されているリニア活用基本構想についての説明もあった。

【質疑なし】

(2) 後援依頼について

…資料による説明 (北原事務局次長補佐)

・在宅医療研修会 (資料 5-1) [期日] 平成 26 年 3 月 1 日 (土) 県文化センター

- ・「ISO14001 自己適合宣言」及び「環境モデル都市認定」記念シンポジウム事業（資料5-2）
〔期日〕平成26年3月17日（月）飯田市役所
 - ・オーケストラと友に音楽祭2014（資料5-3）〔期日〕平成26年5月2～5日
- 以上3件連合長決裁済み（報告）
- ・「デザインの持つ可能性と高等教育機関の設置を考えるシンポジウム」（資料5-4）
〔期日〕平成26年3月15日（土）南信州・飯田産業センター
 - ・2014南信州うまいものサミット（資料5-5）〔期日〕平成26年2月28日（金）県飯田合同庁舎
- 【質疑なし】後援が承認された。

(3) 伊那谷アグリイノベーション推進機構の事業計画等について（資料6）

…資料による説明（金田事務局長）

昨日役員会が開催され、資料にあるシンポジウムについて示された。3月17日に今年度最後の事業として第6回のシンポジウムが開催される。豊丘村保健センターを会場に、資料中にある3つのテーマで行う。豊丘村長に南信州広域連合の代表としてご挨拶いただく。裏面には来年度に予定されている事業・重点課題が記載されている。シンポジウムを2回程度、体験講座の開催等が予定されている。重点課題としては、シカの被害及び活用について、素材の六次産業化の問題、食品・農産物の生産時に発生する未利用資源の機能探索の3点が挙げられている。

予算については、参加自治体から2万円ずつ負担いただいている。資料4ページに登録団体が載っているが、登録をすると信州大学を始めとする教育機関の先生方の研究とリンクして様々な取組ができるというメリットもあるので、是非登録していただきたいとお声掛けがあった。

【質疑なし】

5 長野県から「景観講演会」の開催について

…下伊那地方事務所 林建築課長

〔期日〕平成26年2月22日（土）飯田人形劇場

講師に京都府立大学教授の宗田 好史氏を迎え、農村景観を地域の資源として活用することについてお話しいただく。都市と農村との交流、南信州地域で盛んな農村観光（イタリアではアグリツーリズムと言う）に造詣が深く、農山村を多く含む当地域の地域づくり、元気づくりの参考になると思われるので多くの皆様のご参加をお願いしたい。

6 今後の日程

2月20日（木）広域連合議会第1回定例会

3月14日（水）3月広域連合会議

7 閉会…16:00